

2019年第2回懇話会&夕食会

WSC プレ 25 周年記念企画「CSU 訪問と米国北西部の旅」の報告、ウイーンを熟知している村上有三会員から「ウイーンとっておきの話」、本日の出席会員からの活発な活動状況の報告がありました。本年からの新事業である「新宿レガス子ども英会話クラブ」の進捗報告もあり、多面的な活動紹介でした。

第一部の懇話会には、CSU でお世話になったベーケン眞子先生が出席され、CSU での日本語教育の一端について要所でのコメントがありました。

懇話会終了後は、神楽坂へ移動しての夕食会です。海老をメインとした中華料理で、海老好きな会員にたまらないものでした。料理の味、量に堪能しました。

日 時：11月14日（木）13：30～17：00

場 所：東京ボランティア市民活動センターB 会議室
(JR 飯田橋駅隣接セントラルプラザ 10 階)

参加費：会費 300 円 懇親会 3,200 円

参加者：28 名(第一部)、22 名 (第二部)

第一部 懇話会 13：30～17：00

13:30 開催挨拶 神山理事長

「会員皆様方のご協力により、企画が楽しく順調に進んでいます。来年は WSC25 周年の記念イベントを開催する予定です」

13:35 本年度企画進捗・次年度企画案 村上理事

三浦のまぐろきっぷの旅と、近々のポールボキューズ昼食会もグルメ志向と紹介、次年度も軽井沢コテージ泊を継続予定、来年度の WSC25 周年記念事業を賑やかに進行する企画を進めているなどの報告でした。

13:40 「CSU 訪問と交流会、米国北西部の旅」報告

現地撮影の写真をスクリーンに投射しての説明です。この旅行に参加した方々が、写真の内容によって要所で説明をしました。ベーケン先生からも関連事項の説明があり、内容に厚みをつけてくださいました。現地に足を運んだ方からの説明にはリアリティがあり、現場体験の重みを感じました。内容は会報冬号に掲載されます。

14:50 「新宿区レガス子ども英会話クラブ」報告

葭江理事と國分理事が、中心になって進めている支援業務です。國分理事より、「本年度の新規事業であり、多くの会員の方々のご協力と順調に進んでいる」と報告がありました。

15:00 休憩

15:10 「ウイーンとっておきの話」紹介

ウイーン滞在歴 5 年の村上会員から、本年度の「ウイーンのプチロングステイ」の案内がありました。スクリーンに投射した写真を使っての紹介です。

ヒトラーはオーストリア出身であること、この音楽の都のもう一つの話が銘菓チョコケーキであることでした。チョコ生地、甘酸っぱい杏ジャムを挟んだり、上からかけたりしたのが、ザッハトルテです。ここに元祖争いがあるという、甘くて厳しいお話でした。

映画「第三の男」や「サウンドオブミュージック」は、米国や日本で大ヒットでした。しかし、舞台となったオーストリアでは触れてほしくない内容が多々あり人気の映画ではないとのことでした。

「ウイーンは京都と似ている」、このお話には出席者が関心を持ちました。地形的に三方が山に囲まれ中心に川が流れている、政治的には長期にわたり首都であった、文化的には銘菓を育てているなどなどでした。

16:25～17：00 会員間での情報交換



出席者全員から、順に近況報告がありました。ウイーン旅行での音楽や絵画での感激やエピソードから始まり、マルセーユの旅、モネのお墓のお話など海外旅行での見聞紹介、国内佐渡の旅、八ヶ岳の旅、軽井沢旅行、そして三浦半島の旅ではマグロ味のグルメ旅にまで話題が広がりました。健康に留意しましょうとの、会員からのお話には、全員納得でした。

アイスランドや旧満洲の旅に行かれた会員があり、次号の会報に掲載予定となりました。

第二部 夕食会 17：30～19：30

会場は神楽坂で、10 分ほど歩いて到着しました。店の名前は、「海老専家」、名実ともに、海老を中心とした料理が次々と出てきました。定番の海老チリ、海老の黒コショウ炒めなど海老料理、海老と野菜炒めなどがたくさんありました。鳥肉と野菜の甘酢あんかけ、小籠包、ニンニク風味の豆苗野菜炒めも美味で、締めはパラパラチャーハンと杏仁豆腐です。紹興酒などのサービスがあり、飲み好きにはたまりませんでした。腹は満腹、気持ちは大満足の時空間でした。